

令和7年度 成果発表会

医療部



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 成果発表会【医療部】 目次

NO.		ページ	NO.		ページ
1	病院長	2	16	整形外科	32
2	呼吸器内科	4	17	形成外科	34
3	消化器内科/消化器内視鏡室	6	18	脳神経外科	36
4	肝臓内科/肝疾患センター	8	19	産婦人科/周産期母子医療センター	38
5	循環器内科	10	20	眼科	40
6	脳神経内科	12	21	耳鼻咽喉科	42
7	血液内科/血液疾患センター	14	22	泌尿器科	44
8	糖尿病・内分泌内科	16	23	皮膚科	46
9	糖尿病センター	18	24	放射線診断科/画像診断センター	48
10	腎臓内科/腎センター	20	25	放射線治療科/放射線治療センター	50
11	緩和医療科/緩和ケアセンター	22	26	麻酔科/手術センター	52
12	小児科	24	27	病理診断科/病理診断センター	54
13	外科/消化器外科/血管外科	26	28	リハビリテーション科	56
14	呼吸器外科	28	29	救急科/救命救急センター	58
15	乳腺外科	30	30	歯科口腔外科	60



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度成果

病院長



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
一日あたり入院患者数(人)	381.0	400*以上	400.5	○
病床稼働率(%)	76.2	80.0*以上	80.1	○
延入院患者数(人/月)	11,587.9	12,600.0**	12,230.9	×
2025年度経営強化プラン目標 を超える新規入院患者の確保	1,080.5人	1,150.0人 (1,100人*)	1136.2	×
2025年度経営強化プラン目標 に準じる入院診療単価	82,916.0円	86,000円*	82,119円	×

* : 青字 強化プラン目標値
** : 延入院患者数+退院数



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
4. 経営基盤の 更なる強化	強化プラン目標を加味した目標の達成 入院診療データ:稼働率80%以上、在院日数10日 外来診療データ:新規入院患者数1,150人	○ ×
4. 経営基盤の 更なる強化	強化プラン目標である入院診療単価86,000円確保 手術料の増収(2023-2024;前年差 -17,426,015円)	×
4. 経営基盤の 更なる強化	診療材料購入費の抑制、共同品採用の取組み強化 共同購入品採用率60%以上	○
4. 経営基盤の 更なる強化	設備・スタッフなどの医療資源を有効に活用した 病床利用(週末に低下する病床稼働率の是正)	×



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

経営強化プラン目標に準じる入院診療単価の獲得 目標 86,000円

2025年度 入院単価の推移

円	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
入院診療単価	81,241	82,756	84,326	84,737	79,863	81,740	83,524	80,508	80,379

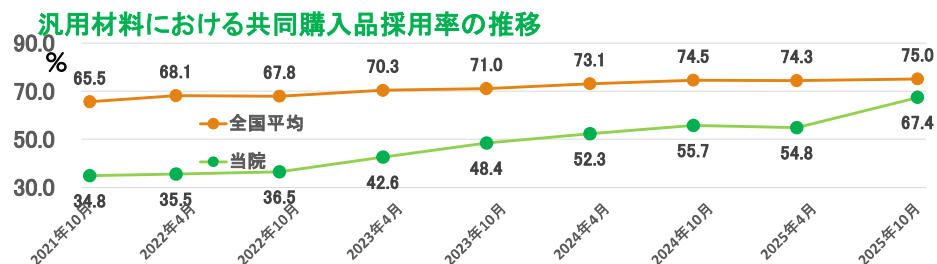
6・7月と11・12月の比較

	診療 単価	新入院	病床 稼働率	手術 件数	全身 麻酔	救急 受入数	救急 入院率	DPC Ⅱ期以内	平日 日数
6・7月	84,531	1,173	76.7	471	213	524	43.5	74.7	43日
11・12月	80,444	1,100	82.3	417	188	541	46.4	71.5	38日



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果



病床利用の平準化

設備・スタッフなどの医療資源の有効に活用(週末に低下する病床稼働率の是正)

2025/1～2025/5			2025/6～2025/12		
金土日祝日	月火水木	比率(%)	金土日祝日	月火水木	比率(%)
入院患者数	入院患者数		入院患者数	入院患者数	
23,999	26,370	0.91	35,360	43,164	0.82



今年度の新たな取組みに対する結果・成果

- × 手術単価の確保
- 汎用材料における共同購入品の採用率アップ
- × 病床の利用の平準化



来年度に向けた決意表明

5年後(2030年度)での医業収支黒字化をめざすための2026年度数値目標

月平均新入院患者数(人)	1,163
1日平均入院患者数(人)	415
病床稼働率(%)	83.0
平均在院日数(日)	9.9
DPC II 期以内退院率(%)	70
救急搬送件数(人)	6,000
救急車からの入院率(%)	44
手術件数(件)	5,350
全身麻酔件数(件)	2,450
ロボット支援手術件数(件)	250
月平均紹介件数(件)	1,150
分娩件数(件)	410
内視鏡検査件数(件)	9,200
人間ドック件数(件)	3,750



2025年度成果

呼吸器内科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
月平均新規入院患者数(人)	106.6	114.8	119.3	○
平均在院日数(日)	14.6	14.6	15.1	△
DPC期間II以内退院率(%)	56.2	58.0	54.4	△



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	肺癌の診断におけるクライオ生検およびリンパ節腫大に対するリンパ節生検の実施	○
2. 生き生きと働ける職場環境	効率的な仕事の遂行と業務の均等な分担によるOn-Offのあるワークバランスのある職場環境を構築する。	○
3. 地域ニーズへの対応	地域連携バスを用いた地域医療との病診連携を通じた医療の構築 医師会への情報発信(地域連携および感染症診療に関する情報提供)	△
4. 経営基盤の更なる強化	新規入院患者数および紹介患者数の増加 DPCII以内退院率の向上	△



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

1. 質の高い医療の実現

- 腫瘍に対するクライオ生検の実施(達成)
- リンパ節穿刺後の生検の追加(MFB)(達成)
- 重症肺炎診断時の遺伝子パネル検査の試験的实施(達成)

2. 生き生きと働ける職場環境

- 業務の均等化のため入院担当の振り分けを機械的に施行し時間外勤務時間が一人に集中することはなかった。(達成)
- 個々の対応能力の差が大きく、大きな治療方針に関してはカンファレンスでの情報共有を図り、不在時に対応可能な環境を提供(達成)
- 適宜、時間休や有給休暇を取得していただき、自己研鑽のために学会活動にも参加できるよう調整した。(達成)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

3. 地域ニーズへの対応

- 医師会主催の学術講演会に座長や演者として登壇し、当院での活動を含めて呼吸器疾患の現状について情報発信を行った。(達成)
- 地域連携バスの作成に関しては、基盤となるプロトコルの素案を作成中である。本年度は特に磐田地区と隣接する中東遠医療圏に及ぶ広範囲の診療所との連携を行う機会が飛躍的に増えたため、地域連携バスの実行については次年度の課題としている。(部分達成)

4. 経営基盤の更なる強化

- 新規入院患者数は昨年度より10%増加(達成)
- 診療収入稼働額については外来7%増加 入院18%増加 全体でも18%増加を見込んでいる。(達成)
- DPC期間II以内での退院率増加(努力目標)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

今年度の新たな取組みに対する結果・成果

地域連携バスの作成

COPD、気管支喘息、間質性肺炎、肺非結核性抗酸菌症の4疾患について地域連携バスの開始に向けた情報収集とプロトコルの土台作りを進行中である。当院の専門性を活かした運営となるよう検討中である。(部分達成)

業務負担軽減のための対策強化

- 夜間休日は完全待機システムをとっている。(達成)
- 科内での業務内容を平等に分担し、一定のルールに基づき視覚的に院内情報ツールや個人端末でもアプリを用いて周知している。(達成)
- 受け持ち患者数、予定入院、重症度や個々の負担を考慮したスコア化により、翌日の緊急入院担当の順番を決定している。(達成)
- 積極的な有給休暇の活用を促しon-offのバランスを保てるように調整している。(達成。全員が有給休暇5日以上取得:平均取得日数 11.2日/年)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

来年度に向けた決意表明

継続可能で高度な医療レベルを常に提供できるよう、働きやすく、個々の医療資質も向上できるように環境の整備を行い、地域連携をスムーズにすることで、経営基盤の強化につなげていきたいと考えています。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度成果 消化器内科 消化器内視鏡室



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-12月実 績	達成度
月平均新規入院患者数(人)	179.3	190.1	208.7	○
平均在院日数(日)	8.4	9.0	9.3	○
下部消化管内視鏡件数	1834	1900	1532	△



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	ERCPやESDなどの内視鏡治療数の増加	○
2. 生き活きと働ける職場環境	時間外検査の削減	△
3. 地域ニーズへの対応	近隣医療機関からの治療要請への対応	○
4. 経営基盤の更なる強化	紹介患者数の増加	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

1. 質の高い医療の実現 ERCPやESDなどの内視鏡治療数の増加

2024年度 ESD 114件
ERCP 607件 → 2025年度(2月現在) ESD 112件
ERCP 563件

2. 生き活きと働ける職場環境 時間外検査の削減

緊急入院の受け入れ増により時間外検査も増加・・・
→ 達成できず。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

3. 地域ニーズへの対応	近隣医療機関からの治療要請への対応
4. 経営基盤の更なる強化	紹介患者数の増加

紹介数

2024年度 151.3人/月 → 2025年度 159.8人/月へ

当日紹介患者数も増加しています。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

今年度の新たな取組みに対する結果・成果

○ 先進的な内視鏡手技(EUS-HGSなど)を行い、QOLを落とさない医療の提供を行うことができています。

○ 学会や研究会などで発信を行い、当院のアピールを積極的に行った。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

来年度に向けた決意表明

引き続き、地域に根ざした医療の提供を行っていくと同時に、スタッフの働き方の改善にも注力し、持続可能性のある部署を目指していきます。

また内視鏡センター稼動に向けて全力で対応していきます。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度成果

肝臓内科 肝臓疾患センター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	院内の肝炎ウイルスマーカー陽性者の拾い上げの徹底	○
2. 活き活きと働ける職場環境	それぞれの職種の専門性を発揮出来るように役割分担を明確にする。	△
3. 地域ニーズへの対応	肝疾患に対する制度の周知(患者様及び医療スタッフ)	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
県認定コーディネーター	23	25	22	△
肝疾患治療費助成案内件数	15	30	23	△
肝疾患相談件数	27	40	43	○

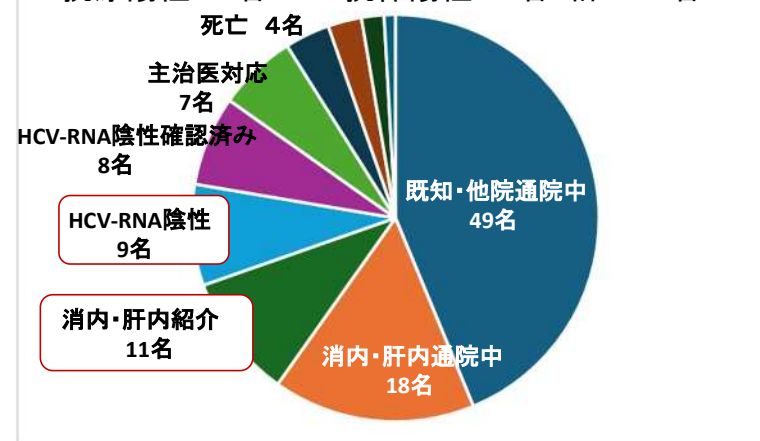


磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

院内の肝炎ウイルスマーカー陽性者の対応

HBs抗原陽性43名 HCV抗体陽性69名 計112名



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

「肝臓週間」に合わせたキャンペーン

7月28日は世界肝炎デーで、7月28日を含む1週間は「肝臓週間」でした。

これに合わせて、院内でキャンペーンを行いました。

- ・正面玄関のブースでの肝炎関連のポスターの掲示
- ・肝炎予防啓発のチラシなどの配布
- ・無料検査の案内
- ・SNSによる情報発信



今年度の新たな取組みに対する結果・成果

・肝癌、肝硬変の助成金給付が円滑にいくように該当者に早めに医事課で説明を聞いていただけるようにスタッフに周知していく。

→消化器内科・消化器外科の先生方に情報提供を行いました。

・肝疾患コーディネーターの増員に伴い、多職種との連携の見直しをする。

→リハビリ科と連携して、肝疾患で入院中の患者にリハビリを勧める準備をしています。



来年度に向けた決意表明

肝疾患の検査の「**受検**」、
肝疾患患者の早期「**受診**」、
肝疾患患者の継続的な「**受療**」を促進し、
「**フォローアップ**」が円滑に行われる
ようにこころがけます。



2025年度成果

循環器内科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-12月実績	達成度
月平均新規入院患者数(人)	89.6	96.5	93.2	△
平均在院日数(日)	8.6	8.4	8.5	○
ロータブレータPCI件数	7	12	14(19)	○
アブレーション件数	64	70	53(71)	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	カテーテル治療の質の向上と先進治療機器の導入	○
2. 生き活きと働ける職場環境	緊急対応の質を維持しつつ、ライフワークバランスを保てる職場作り	○
3. 地域ニーズへの対応	高齢化に伴い増加する心不全患者への診療の充実	△
4. 経営基盤の更なる強化	医療機器購入の効率化と費用削減の取り組み	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

1. 質の高い医療の実現

- ・PCI;ロータブレータの治療件数増加、ダイヤモンドバック導入
- ・カテーテル検査;心筋微小循環機能解析ソフトの導入
- ・アブレーション;治療件数維持、パルスフィールドカテーテルの導入

2. 生き活きと働ける職場環境

- ・治療水準を維持しながらの医師働き方改革の推進→時間外業務は横ばい
- ・多職種間でのタスクシフトの推進
CEによるカテーテル(手洗い)業務、緊急カテーテル検査への参加開始
RI検査での注射業務など



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

3. 地域ニーズへの対応

- ・心不全地域連携連絡会の継続
 - 院内多職種連携の強化、病診連携の推進
 - 院内勉強会、地域連携勉強会(医師会と連携)の開催

4. 経営基盤の更なる強化

- ・カテーテル機器共同購入の参加(機器購入費用の削減)
 - ノルマ達成により購入金額の一部還元を得られた。



今年度の新たな取組みに対する結果・成果

PCI/カテーテルアブレーションにおける先進医療機器の導入による高度治療の拡大

- ・PCI;
 - ダイヤモンドバック(石灰化病変治療機器) 導入完了
- ・カテーテル検査;
 - 心筋微小循環機能解析ソフト(CroFlow)の導入完了
- ・カテーテルアブレーション;
 - パルスフィールドアブレーションの導入完了



来年度に向けた決意表明

2026年度も多職種で連携してより一層チーム医療の強化をしていきます。

地域中核病院としての医療を提供しつつ、更なる質の向上を目指します。



2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-2月実績	達成度
新規入院患者数(人) / 月平均	26.5	27.0	17.2	×
/ 年間	331	300	189	×

2025年度成果

脳神経内科



2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	ガイドラインに沿った診療。ポリファーマシー根絶	△
2. 生き活きと働ける職場環境	働き方改革の推進 残業時間を削減しワークライフバランスを強化	△
3. 地域ニーズへの対応	初診(紹介患者)の受け入れ制限の解除	○
4. 経営基盤の更なる強化	査定の恐れのある検査、薬剤の制限。	○



2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

持参薬を飲みきった際に中止を検討出来たと思われる

業務の削減は困難



今年度の新たな取組みに対する結果・成果

一次脳卒中センターは返上した

脳梗塞の診療を内科系診療科と分担することは年度始めに10人前後あったが、その後は不搬送が増えたため分担の必要性も無くなった



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

来年度に向けた決意表明

脳梗塞受け入れを原則再開する

非神経疾患診療を内科当番医などに担当して頂くなど、理解を得やすい形で負担軽減を図る



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度成果

血液内科 血液疾患センター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	自家末梢血幹細胞移植を積極的におこない、年間5件以上を維持する。新規治療薬である二重特異性抗体薬を必要とする患者に届ける。	○
2. 生き活きと働ける職場環境	血液疾患診療センターによる多職種連携して、タスクシェアシフトをすすめる。チーム血液内科で診療にあたり業務を分担し休暇を取りやすい環境を目指す。	○
3. 地域ニーズへの対応	血液疾患やAYA世代のがんについて、市民や学生に教育や公開講座をおこなえる機会を作る。講演会などを通じて病病連携、病診連携をすすめる。	△
4. 経営基盤の更なる強化	入院化学療法において、DPCを意識したクリニカルパスをさらに推進する。	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-2月実績	達成度
月平均新規入院患者数(人)	67.4	72.6	71.7	○
年間入院患者数 (実人数/延べ人数)	288/755	200/500	717 (延べ)	○
自家末梢血幹細胞移植件数	5	6	10	○
二重特性抗体薬治療件数	3	4	5	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

・自家移植、免疫細胞療法(二重特異性抗体療法)など、血液疾患の専門的治療も積極的に導入している。マニュアルを作成し血液疾患診療センター内で共有することで迅速な対応が出来る体制を作った。

・血液疾患診療センターのカンファレンス担当者を決め、役割を分散した。定期的なカンファレンスで情報共有ができることで、当科の発案した血液疾患中東遠モデルを推進することができた。夏期休暇以外の有給休暇を取得することを必須とする運用にすることで、全スタッフが休暇をとってくれた。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

今年度の新たな取り組みに対する結果・成果

- ・がん教育や地域の皆様への講演については依頼がなかった。
- ・在宅医療クリニック、家庭医療クリニックとの連携を積極的におこなっている。勉強会も実施出来た。当院の取り組みを他県、他医療圏のみなさまに発信することができた。
- ・多人数の患者様に最新の治療を安全に提供するために、クリニカルパスを積極的に導入した。患者様、ご家族、医療スタッフも入院治療の見通しがわかるようになった。結果的により多くの新規患者を受け入れることが可能になった。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

来年度に向けた決意表明

中東遠地域唯一の血液内科を標榜している日本血液学会認定の血液専門研修施設として、当地域の中心的役割を担います。

当院血液内科の試みを発信していきます。

中東遠全域からの血液疾患を疑う患者の受け入れをより強化していきたいと思えます。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度成果

糖尿病・内分泌内科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成 度
月平均新規入院患者数(人)	16.3	18.0	17.83/12M 21.4/10M	○
平均在院日数(日)	10.9	10.0	11.5	△
指導管理料算定				
透析予防管理指導料(糖尿病)	13	25	17	
在宅妊娠糖尿病患者指導管理料2	-	40	26(2026年6月~)	○
在宅療養指導料 (インスリン注射患者)	-	30	31(2026年7月~)	
教育入院 外来指導	-	5	36(2026年7月~)	



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	最新の糖尿病薬・肥満治療薬、関連機器につき、速やかな情報収集を行う 新規薬剤を、正しい知識に基づき治療に還元する	○
2. 生き活きと働ける職場環境	当該分野での積極的な学会論文発表 糖尿病・内分泌代謝科専門医の育成	○
3. 地域ニーズへの対応	地域の他医療機関、クリニックとの連携 患者さんのニーズに応える 専門的な診療	△
4. 経営基盤の更なる強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 在宅妊娠糖尿病患者指導管理料2の算定 ● 在宅糖尿病指導料の算定 ■ 教育入院インスリン導入患者さんの退院時算定 ■ 外来インスリン導入患者さんの算定 	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

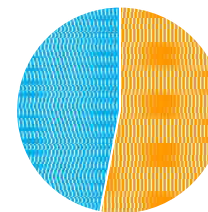
2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

経営基盤のさらなる強化 在宅妊娠糖尿病患者指導管理料2の算定

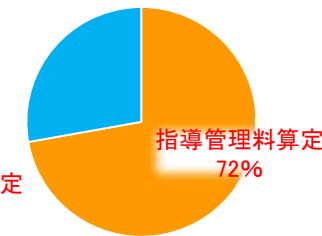
昨年まで糖尿病・内分泌内科が
介入した当院の妊娠糖尿病患者
(対象患者さん)

2021	2022	2023	2024
60	42	35	58

2025年4月~2026年1月の
当科介入妊娠糖尿病患者数 49例



2026年6月取り組み開始後36例



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

今年度の新たな取組みに対する結果・成果

糖尿病療養指導Nsをはじめ外来スタッフと連携したと外来教育システムの構築

- 初めて糖尿病を診断された外来患者さんの治療の動機づけ
- さまざまな理由で入院ができない患者さんの、外来での糖尿病教育
- 外来での、見落としのない合併症チェック
- インスリン導入時に、注射の正しい知識と注射手技の指導を可能に
- 外来で完結できるクリニックとの糖尿病教育連携
- インスリン使用の方は在宅療養指導料を算定することができる。

20000129 30004022 2025/06/28 9:38

外来 糖尿病学習スケジュール

主治医: 佐藤 ひとり 患者ID: 10004022 年齢: 69歳10月
 作成日: 2025年6月28日 氏名: テスト 入院科: 糖尿病

項目	学習の項目1	学習の項目2	学習の項目3	学習の項目4
内服のみ	<input type="checkbox"/> 糖尿病の基礎知識 学習目的: 糖尿病の基礎知識を学ぶ	<input type="checkbox"/> 血糖値の測定方法 学習目的: 血糖値の測定方法を学ぶ	<input type="checkbox"/> 糖尿病の合併症 学習目的: 糖尿病の合併症を学ぶ	<input type="checkbox"/> 糖尿病の予防 学習目的: 糖尿病の予防方法を学ぶ
注射あり	<input type="checkbox"/> 糖尿病の基礎知識 学習目的: 糖尿病の基礎知識を学ぶ	<input type="checkbox"/> 血糖値の測定方法 学習目的: 血糖値の測定方法を学ぶ	<input type="checkbox"/> 糖尿病の合併症 学習目的: 糖尿病の合併症を学ぶ	<input type="checkbox"/> 糖尿病の予防 学習目的: 糖尿病の予防方法を学ぶ

2025年8月～2026年1月
 外来スケジュール
 対応例 6例



来年度に向けた決意表明



代謝疾患・内分泌疾患のスペシャリストとして
 院内および地域の中で、当科の期待されている役割を
 スタッフ全員で考え、果たしていきます

治療から予防へ、患者さん一人ひとりに
 最も有益な医療の提供をめざします



2025年度成果

糖尿病センター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月 実績	達成度
フットケア外来数	205	220	205	○
透析予防管理料算定 腎症重症化予防外来 慢性腎臓病透析予防指導管理料	7	※	7	○
腎臓内科(慢性腎臓病)	24	50	102	
糖尿病・内分泌内科(糖尿病)	13		17	
専門スタッフの育成 フットケア指導士 糖尿病療養指導士 認定看護師(糖尿病看護)	8 3(Ns)/4(薬)/5(栄)/1(検) /1	10 Ns +1	10 13 1	△



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	●糖尿病教育パンフレットの改訂 指導内容のアップデート	○
2. 生き活きと働ける職場環境	●院内スタッフ向けミニレクチャーの開催 スタッフの資格取得・更新に対するバックアップ 中東遠総合医療センターと協力した療養指導研究会の開催準備	△
3. 地域ニーズへの対応	フットケア外来 →地域フットケアクリニック 連携体制の確立	○
4. 経営基盤の更なる強化	①透析予防管理料の算定 ②外来・入院 在宅療養指導料の算定 ③産後在宅療養指導料の算定	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

質の高い医療の提供 オリジナル糖尿病パンフレットの改訂



もくじ

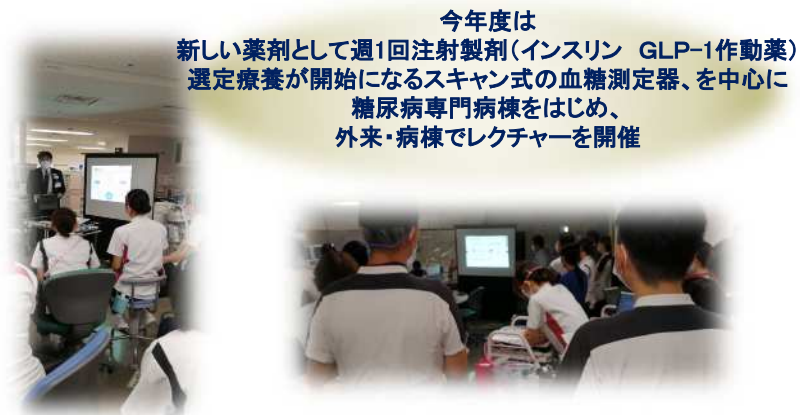
《1》糖尿病ってどんな病気?	…… 1
《2》血糖値が高い時の症状	…… 2
《3》糖尿病の合併症	…… 3
《4》検査	…… 10
《5》糖尿病治療の3本の柱と目標	…… 13
《6》食事療法	…… 14
《7》運動療法	…… 16
《8》薬物療法	…… 18
《9》フットケア (足の手入れ)	…… 20
《10》歯周病とは	…… 23
《11》低血糖	…… 26
《12》シックデイ (Sick day)	…… 28
《13》災害時の心得	…… 30
《14》その他	…… 32
-日常生活で気をつけたいこと-	
	…… 32



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

質の高い医療の提供 2024年度に引き続き精力的にミニレクチャーを開催



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

今年度の新たな取組みに対する結果・成果

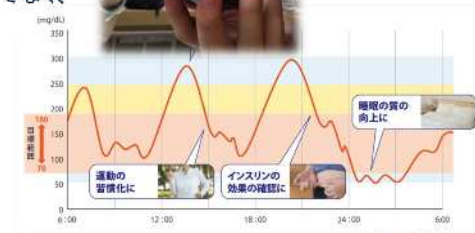
質の高い医療の提供

間歇スキャン式持続血糖測定の新選定療養に
関連した取り組み

2024年7月より、「選定療養(保険外併用療養費)」制度の対象に加わった間歇スキャン式の持続血糖測定に関する機器、消耗品の有償提供の準備を各部署と連携して行った。近日提供開始予定となっている。

インスリン治療をしている患者さんだけでなく、健康管理目的に希望される患者さんへの物品の有償提供

- 厚生局長への申請
- 提供開始に関する広報活動
- 価格設定の調整
- 院内提供手順フローの作成



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度成果

腎臓内科 腎センター



2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度目標値	2025年度4月-12月実績	達成度
月平均新規入院患者数(人)	28.8	31.0	25.4	×
平均在院日数(日)	15.4	15.0	13.7	○
DPCII以内退院率(%)	66.9	68.0	72.7	○



2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	<ul style="list-style-type: none"> 血液透析、腹膜透析、腎移植を3本柱としたバランスの良い腎代替療法の提供 オンラインHDFなどの新規治療方法の継続と拡充 	○
2. 生き活きと働ける職場環境	<ul style="list-style-type: none"> 医師の働き方改革(働きがい)の推進 家庭環境を考慮したワークライフバランス実践 	△
3. 地域ニーズへの対応	<ul style="list-style-type: none"> 慢性腎臓病対策の徹底 夜間透析を含む透析医療体制の維持 災害時における透析医療提供体制の確立 	○ ○ △
4. 経営基盤の更なる強化	<ul style="list-style-type: none"> 新規入院患者の獲得 腎症重症化予防外来、透析予防外来の拡充 	×



2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

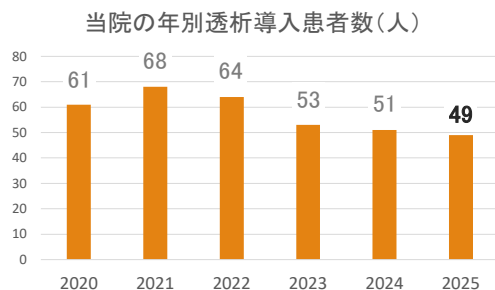
慢性腎臓病対策として

1. 糖尿病性腎症重症化予防外来
2. 慢性腎臓病透析予防外来(管理料300点)
3. 糖尿病透析予防外来(管理料350点)の拡充



今年度の新たな取組みに対する結果・成果

1 透析導入患者数の抑制



2 腎センター運営の維持と効率化



来年度に向けた決意表明

より質の高い慢性腎臓病対策を実施し
周困から目標とされる施設となる

透析導入患者さんを減らしたい



2025年度成果

緩和医療科 緩和ケアセンター



2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
年間新入院患者数(人)	33	30	30	○
緩和ケアチーム依頼数(人)	293	290	264	○
緩和治療科外来数(のべ, 人)	664	660	493	△



2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	コアメンバー減少に関わらず質の高い緩和ケアの実現・提供	○
2. 生き生きと働ける職場環境	入院患者・外来患者との関わり方の見直しでワークライフバランスを強化	○
3. 社会ニーズへの対応	がん教育への協力	○
4. 経営基盤の維持	緩和医療科入院患者, 緩和ケアチーム介入患者, 緩和医療科外来患者の維持	○



2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

難治性疼痛に対するメサドンの使用, 放射線治療科との協働, 神経ブロックの増加で質の高い疼痛緩和
多職種対応で全人的苦痛に対応

小学校1校, 中学校4校, 特別支援学校2校, 教育委員会1回でがん教育を実施協力



今年度の新たな取り組みに対する結果・成果

新電子カルテのテンプレート作成で効率化と
医療安全的配慮

症状緩和が行われ安定した外来患者は一旦
終診にすることで患者数を抑制して入院患者
の緩和に注力
有休取得にも寄与(ワークライフバランス)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

来年度に向けた決意表明

身体ばかりでなく全人的苦痛に多職種での対応

オピオイド処方テンプレート化で更なる効率化、
医療安全的配慮の推進

主に注射剤、内服のセット化も考慮
診療科内だけではなく全病院への展開

ドルミカムのテンプレート化で使用目的に応じた
組成と運用法の統一化を目指す
抗不安・睡眠・鎮静



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度成果

小児科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	救急外来コンサルト症例・救急搬送症例への24時間対応入院が必要な症例の24時間対応	○
2. 活き活きと働ける職場環境	働き方改革への対応、必要な代償休息時間の確保、宿直明け業務の調整、産休や育児への対応	○
3. 地域ニーズへの対応	周産期医療を含めた地域中核病院としての小児医療提供体制の維持、関連機関との協力、新生児蘇生法コース開催	○
4. 経営基盤の更なる強化	外来・入院数の維持、専門外来による医療の提供、神経発達症の診療	△



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度目標値	2025年度4月-12月実績	達成度
月平均新規入院患者数(人)	88.3	88.1	59.0	×
平均在院日数(日)	4.0	4.5	4.3	○
紹介件数(件/月)	66.6	70	64.6	△



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

小児科医による救急症例への24時間対応を維持。

勤務間インターバルの確保のため、宿直明けに実働時間に応じて休むことができる体制の整備を行った。

宿直明けDr.の業務を、時短勤務Dr.が代務として行うことでの業務負担軽減を行っている。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

行政や教育委員会・教育機関と常に連携をとり、顔の見える関係を作ることができた。

こども園・小学校における医療的ケア児への対応がスムーズになった。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

今年度の新たな取組みに対する結果・成果

当院小児科かかりつけの重症心身障害児・者を対象としたレスパイト入院を開始した。2件の申し込みがあり、病棟で運用を行った。

かかりつけ以外の方からも問い合わせがあった。

今後、かかりつけ以外の方への利用の拡充をどのように進めていくか検討したい。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

来年度に向けた決意表明

子どもの疾患の治療を行う病院であるに留まらず、常に行政や教育機関との連携をとることで、医療的ケアについても主たる役割を担える小児科としたい

発達障害に対する対応についても、行政と連携し地域のニーズに応えられる活動を行っていききたい



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度成果

外科・消化器外科 血管外科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月 実績	達成度
月平均新規入院患者数(人)	外科・消化器外科77 血管外科 2.6	外科・消化器外科82 血管外科 3	外科・消化器外科77 血管外科 1.9	×
平均在院日数(日)	外科・消化器外科10.5 血管外科 11.5	外科・消化器外科10.5 血管外科 11.5	外科・消化器外科11.2 血管外科 6.4	△
単径ヘルニア手術 待機期間	3から5ヶ月	2ヶ月以内	およそ2ヶ月	△



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	低侵襲治療(ロボット手術、腹腔鏡手術)の継続	○
2. 生き生きと働ける職場環境	休暇の取りやすい負担感の少ない外科を目指す	△
3. 地域ニーズへの対応	単径ヘルニア手術の待機期間の削減	△
4. 経営基盤の更なる強化	効率的な入退院管理	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

- ・チーム医療の実践(休日・夜間は当番制)で時間外の呼び出し減少→負担の軽減
- ・空き手術枠に単径ヘルニア手術を積極的に施行→ヘルニア待機期間の削減
- ・DPC期間Ⅱ満期の入院マネジメント→病床有効利用



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

今年度の新たな取組みに対する結果・成果

- ・ヘルニア手術待機期間の削減
- ・病床稼働率の増加



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

来年度に向けた決意表明

- ・新たにロボット支援単径ヘルニア手術の導入を目指す
- ・ロボット支援手術200件(病院全体)を目標にロボット手術件数を増やす



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度成果

呼吸器外科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	高度で低侵襲な胸部外科手術の提供 胸部外傷患者に対する適切な治療の提供	○
2. 生き活きと働ける職場環境	チーム医療の充実による負担分配	○
3. 地域ニーズへの対応	中東遠圏域内の胸部疾患・胸部外傷診療への貢献	△
4. 経営基盤の更なる強化	近隣医療機関との診療連携の拡充	△



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
月平均新規入院患者数(人)	15.3	16.5	8.4	×
平均在院日数(日)	7.3	8.5	7.7	△
手術件数	153	150	83	×

- 自然気胸(手術あり、副傷病なし)DPCⅡ期間:10日
高校生や受験生を中心に若年者が多く、早期の退院を目指すことが多い



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

- ロボット支援下手術の適用は重篤な合併症を起こさずに拡大できている
- 胸部外傷を中心として近隣医療機関の連携は進んでいる
- 積極的な休暇の取得促進



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

今年度の新たな取組みに対する結果・成果

袋井、掛川両市内の呼吸器内科
クリニックへの訪問を行い、
顔の見える関係の構築を行った

症例増加の直接的効果は乏しかった



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

来年度に向けた決意表明

時代の潮流と周囲の状況に即して
症例の確保に努めます



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度成果

乳腺外科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	整容性の高い手術の提供・薬薬連携と情報共有ツールの利用(PRO)による効果的薬物治療と薬害防止	△
2. 生き生きと働ける職場環境	Web会議・情報共有ツールを利用した他職種スタッフとの定期的カンファレンスと情報共有	○
3. 地域ニーズへの対応	開業医との共同診療・市民への情報提供による診療時間短縮	△
4. 経営基盤の更なる強化	アナフィラキシーもしくは過敏反応のriskの高い方・通院手段の乏しい方に対する入院化学療法実施による入院数増加	△



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度目標値	2025年度4月-1月実績	達成度
月平均新規入院患者数(人)	12.3	13.2	11.6	△再建例は形成外科入院
平均在院日数(日)	9.6	10	4.6	△化学療法入院が短期
乳腺悪性腫瘍に対する根治術件数	142	常勤医-1のため115	100	○
マンモトーム(吸引式組織生検)件数	24	30	45	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取り組み・成果

- ①薬薬連携推進(CDK阻害剤)=CDK阻害剤問診票と化学療法チェックリストによる保険薬局との情報共有。
 - ②薬物治療の効果・有害事象を医療用アプリを利用したePRO (electronic Clinical Outcome)で収集。
 - ③乳腺診療に関わるスタッフとのLINEを利用した情報共有。
 - ④術後及び骨転移地域連携パスによる開業医との共同診療。
- ①～④の成果を2025/7/11第33回日本乳癌学会総会・2026/2/8第36回静岡岡県病院薬剤師会学術大会で発表。
医師働き方改革と医療DX化を目指した薬薬連携と地域連携の推進

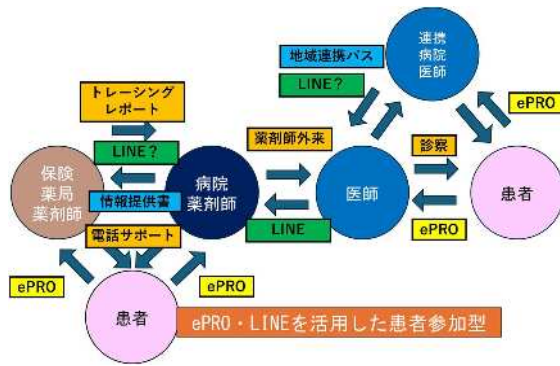
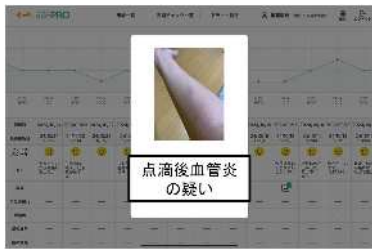
学会作成治療関連説明用動画の使用。
吸引式組織生検による診断精度の向上=マンモトーム件数45件。
MRIと超音波融合画像ガイド下生検による正確な診断=乳癌の臨床 第40巻3号p129-133 2025/6/30発行、
MRI/超音波融合画像ガイド下乳房針生検が有用であった乳癌の3例。

90歳以上超高齢者に対する価値観を重視した積極的手術=第34回日本乳癌学会総会発表予定。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

今年度の新たな取組みに対する結果・成果



後藤敏也(薬剤部)作成図を一部改変



来年度に向けた決意表明

地域格差の解消

重篤な薬害防止

経験と知識の次世代への伝承



2025年度成果

整形外科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-12月実績	達成度
月平均新規入院患者数(人)	101	108.3	111.8	○
入院一人当たり単価(円)	77,497	79,800	75,004	×
専門手術(脊椎、関節鏡、人工関節置換)の実施(件)	237	260	233	○ (達成見込み)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	低侵襲手術を含めた専門性の高い手術の実施、スタッフの専門性を活かした診療	○
2. 経営基盤の更なる強化	新規入院患者の獲得、病床稼働率を考慮した病床の効率的な運用、医療スタッフのコスト意識の改善	△
3. 生き生きと働ける職場環境	働き方改革の推進によるワークライフバランスの強化、スタッフの診療スキル向上やキャリアアップの推奨	○
4. 地域ニーズへの対応	低侵襲手術への取り組み、近隣医療機関や市民への情報発信	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取り組み・成果

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	低侵襲手術を含めた専門性の高い手術の実施、スタッフの専門性を活かした診療	○

- ・専門性の高い手術(脊椎手術、関節鏡下手術、人工関節置換術等)の実施 ○
- ・専門外来(外来:手外科外来、脊椎外来、骨折予防外来)の運用 ○

項目	目標	達成度
2. 経営基盤の更なる強化	新規入院患者の獲得、病床稼働率を考慮した病床の効率的な運用、医療スタッフのコスト意識の改善	△

- ・新規入院患者数の獲得 ○ 入院一人あたり単価 ×
- ・コスト意識を考慮した診療材料(縫合糸、整形外科インプラントなど)の積極使用 ○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

項目	目標	達成度
3. 生き活きと働ける職場環境	働き方改革の推進によるワークライフバランスの強化、スタッフの診療スキル向上やキャリアアップの推奨	○

- ・複数主治医制での運用、当直明け勤務の有休取得→○
- ・空いた時間を個人のスキルアップ(他院への手術見学、セミナー参加や資格取得など)→○

項目	目標	達成度
4. 地域ニーズへの対応	低侵襲手術への取組み、近隣医療機関や市民への情報発信	○

- ・低侵襲手術(コンドリアーゼ椎間板注入、経皮的椎体形成術の実施、脊椎内視鏡手術)の実施・運用準備 ○
- ・脊椎内視鏡手術実施への準備(2026年秋以降～運用開始目標)



今年度の新たな取組みに対する結果・成果

がん診療連携拠点病院における整形外科の役割の見直し

がん骨転移診療に対する整形外科的介入への取組み

- ・2025年度 転移性骨腫瘍に対する**緊急・準緊急手術 7件**
- ・**骨転移チーム研修**(整形外科医師2名、理学療法士1名、病棟看護師1名、病棟薬剤師1名)参加

診療材料のコスト削減に対する取組み

共同購入品(整形外科インプラント、手術消耗品)の積極採用

脊椎固定材料	コスト削減額	1,070,000円	} 300万円以上のコスト削減
人工骨頭・髄内釘材料	コスト削減額	1,534,791円	
縫合糸切替	コスト削減額	415,275円	



来年度に向けた決意表明

引き続き、質の高い医療と病院収益改善を両立させた取組みを目指します。



2025年度成果

形成外科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-12月実 績	達成度
月平均新規入院患者数(人)*	15.1	16.9	9.1	×
DPC期間II以内退院率(%)*	64.8	70.0	58.2	×
平均在院日数(日)	17.4	14.0	19.9	×
手術件数(1-12月)	1210	1000	1114	○

* 簡易ダッシュボードより



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	Effort	達成度
1. 経営基盤の 更なる強化	新規入院患者の獲得	30%	×
	手術件数の維持	30%	○
2. 入院期間の 短縮	DPC期間 II以内退院率の向上	20%	×
3. 質の高い医療 の実現	皮膚腫瘍外科診療のレベルアップ	20%	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

(1) 手術件数の維持

今年度は医師数減少があったが、地域施設からのコンスタントなご紹介があるため、目標の手術件数を維持できた

(2) DPC期間II以内退院率の向上

虚血肢・糖尿病足壊疽・褥瘡感染等は転院待ちで入院期間が延びることが多く、PFM等のご協力も得ているが向上はできていない



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

今年度の新たな取組みに対する結果・成果

(1) 皮膚腫瘍外科診療のレベルアップ

周到な術前評価(ダーモスコピー、超音波検査、病理組織学的検査)によって、再手術は非常に少なく、効率的治療が行えた

(2) CLTI(包括的高度慢性下肢虚血)の治療アルゴリズムの向上

血行再建(血管外科)、血液浄化療法(腎臓内科)等、関連診療科のご協力のもと治療を行っているが、術後断端壊死を生じて再手術を要することがあった



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

来年度に向けた決意表明

(1) 若手医師の育成

2025年度は1名専門医を取得

(2) 診療レベルアップ

スタッフ増員予定

(3) 手術件数の維持



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度成果

脳神経外科



2025年度 診療数値目標

項目	2025年度 目標値	2025年度 4月-12月実績	達成度
月平均新規入院患者数(人)	21.9	20.6	△
DPC期間Ⅱ以内退院率(%)	70	77.1	○
主要手術件数	120	94	△



2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	質の高い手術の提供 質の高い診療の提供	○
2. 地域ニーズへの対応	近隣医療機関や施設との連携強化	△
3. 職場環境待遇の改善	風通しの良い職場環境 コメディカルとの連携 人員補充 就労環境・条件の改善	△



2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

専門的知識・技術を活かした症例集積

→近医からの手術適応患者の紹介を積極的に受けることができた

認知症・頭痛の専門外来にて難治例の受紹介

DPC期間を意識した退院調整

→DPCに沿ったパス作成・運用

転院先の都合に左右されることも

効率の良い手術症例の集積

→検討が必要



今年度の新たな取組みに対する結果・成果

DPC期間を意識した退院調整

患者状態や患者都合によらないDPCを意識した入院期間

効率の良い手術症例の集積

救急に頼らない手術症例の収集 腫瘍、機能手術等

→開業医からの紹介は積極的に受けられた

非手術症例の扱い？

新たな人材の確保 効率の良い人員配置

医局、病院に要請 継続可能な体制作りが課題

→意図できない 休日・有休時の呼び出しで規定の休み取れず



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

来年度に向けた決意表明

専門的・最新の医療対応

効率の良い手術症例の集積

DPC期間を意識した退院調整

研鑽環境、就労環境の改善



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度成果

産婦人科 周産期母子医療センター



2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
月平均新規入院患者数(人)	73.3	80	75.3	△
平均在院日数(日)	7.0	7.0	6.7	○
分娩件数	390	384	338 (405)	○
ハイリスク分娩管理加算数 (のべ)	539	540	403 (484)	×
鏡視下手術件数	160	160	115 (138)	×



2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	質の高い手術の提供	△
2. 生き活きと働ける職場環境	スタッフ数の確保、有給休暇消化率の増加	○
3. 地域ニーズへの対応	周産期医療提供体制の維持	○
4. 経営基盤の更なる強化	手術件数・分娩数の維持	△



2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

1. 質の高い手術の提供

- 鏡視下手術・ロボット支援下手術の維持: ○
- 安全を確保した上での手術時間の短縮: △
 - 腹腔鏡下子宮全摘術: 2024年度200分→2025年度194分
- ロボット支援下仙骨腔固定術の施行: ○
- vNOTES: 経腔的内視鏡手術の施行: ○
- 女性骨盤機能センターの開始: ○ 患者数増加に期待

2. 医師スタッフ数の確保

- 大学医局との連携維持: ○
- 大学非常勤医師の確保: ○
- 有給休暇消化率の増加: ○



2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

3. 周産期医療提供体制の維持

- 国の政策動向注視
- ハイリスク妊娠・ハイリスク分娩・新生児等の受け入れ維持: ○
- 中東遠圏域周産期医療機能調整会議: △現状の変更困難
- 産科医師のモチベーション維持: △現況変化なし

4. 分娩数の維持

- 分娩費の設定検討
- 付加価値のある分娩の増加: △
 - 無痛分娩の適応拡大検討
 - 非侵襲性出生前遺伝学検査(NIPT)促進: 適応拡大検討
- 産後食(週3回お祝い膳)継続: ○
- 入院中の患者コミュニケーションの促進: △現状維持
- 産科外来の超音波画像の提供: ○(2022年より購入請求 2026年2月開始)



今年度の新たな取組みに対する結果・成果

無痛分娩の対応拡大の取組み: 麻酔科と検討

鏡視下手術の待機期間の短縮: ○

Enhanced Recovery After Surgery (ERAS)開始

- 術後回復強化プログラム
- 手術室滞在時間の短縮、手術数増加には至らず

女性骨盤機能センターの開始

インスタグラムの開設



来年度に向けた決意表明

中東遠地域の中核病院として地域のニーズに応える手術を施行します。

中東遠地域唯一の地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク妊娠・ハイリスク分娩・新生児の受入を維持していきたいと思えます。



2025年度成果

眼科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	白内障手術、硝子体手術等における低侵襲治療	○
2. 生き活きと働ける職場環境	疾患、治療内容の共有をおこなう	○
3. 地域ニーズへの対応	緊急症例の受け入れ強化	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-12月実績	達成度
月平均新規入院患者数(人)	6.2	20	30.6	○
月平均新規患者数	32.6	48	41.6	△
月平均患者数	279.7	300	532	○
月平均手術件数	48.8	50	73.6	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

白内障手術において、日帰り手術や短期入院手術を行い、患者のニーズに対応する

→日帰り手術と短期入院手術をそれぞれ行うことができた

眼科領域の疾患、治療に対するスタッフの理解を深め、より適切な医療を行う

→スタッフの協力も得て、治療方針の共有を積極的に行った



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

白内障難症例手術、硝子体手術、緑内障手術等の受け入れの強化

→上記のような症例をご紹介いただき、適切な加療を行った

常勤医師2名体制により、緊急症例をはじめとする新規症例の受け入れの強化

→ご紹介いただいた患者は、積極的に受け入れし、紹介患者数の増加につながった



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

今年度の新たな取組みに対する結果・成果

加齢黄斑変性や糖尿病網膜症、静脈閉塞症への抗VEGF薬加療について、新規の薬剤を導入し、広い治療選択肢を提供していく

→スタッフの協力のもと、診療体制を整えた 新規薬剤を用いて患者の治療を行った

局所麻酔での加療困難な患者に対し、全身麻酔下での加療も選択肢とする

→本年度は4件の全身麻酔手術を施行した



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

来年度に向けた決意表明

引き続き常勤医師2名体制で、緊急症例をはじめ、新規患者や既存の患者への診療を強化していく

症例カンファレンスを行い、医師や眼科スタッフ間での診療内容や治療方針の共有を目指す

眼科検査機器更新を本年度行い、来年度も引き続き精度の高い診療を行う



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度成果

耳鼻咽喉科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	業務効率化で生じた余剰時間で研鑽を行なう。臨床課題のリサーチを効率化。患者説明の質向上	○
2. 生き活きと働ける職場環境	業務効率化・省力化で生じた余剰時間で休憩時間・インターバルを確保し、ワークライフバランスを強化	○
3. 地域ニーズへの対応	病診連携の強化	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
月平均新規入院患者数(人)	27.8	29.9	30.1	○
DPC期間Ⅱ以内退院率(%) ※簡易ダッシュボードより	77.7	85	85.4	○
手術実績件数	380	420	339(4-12)	○-△



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

- 生成AIを活用した情報収集・研鑽
→リサーチにはあまり活用できておらず
- 生成AIを活用した、質の高い患者説明
→50文書ほど作成。頻用病状説明書は特によく活用している
- 鼓室形成術や汎副鼻腔内視鏡手術などを積極的に行なう



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

今年度の新たな取組みに対する結果・成果

- 金曜日午前の手術枠を新設頂いた
→新設直後は使えていたが、2026年1月に医師の人員が減少したので活用できていない。4月から人員が戻るので再活用していく
- 生成AIを安全に活用する人材を増やす
→耳鼻科内の他Drも活用事例がでてきた。
→ワークショップが始まったので、他部署へと広げていく



来年度に向けた決意表明

安全で丁寧な診療を提供していきます

成果として結実する業務の効率化・省力化を進めます

クリニックで対処困難な症例の受け入れ
およびクリニックで対処可能になった症例の
逆紹介など病診連携を進めていきます



2025年度成果

泌尿器科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	低侵襲治療(腹腔鏡・ロボット手術)の提供	○
2. 生き活きと働ける職場環境	働き方改革の推進による残業時間の削減、年休消化率の向上	△
3. 地域ニーズへの対応	地域住民への情報発信、周辺医療機関との連携強化	○
4. 経営基盤の更なる強化	新規医療技術の導入	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4-12月実績	達成度
月平均新規入院患者数(人) ※簡易ダッシュボードより	52.1	56.1	61.0	○
DPC期間Ⅱ以内退院率(%) ※簡易ダッシュボードより	71.1	72	80.7	○
手術件数	448	450	374 (498件/年見込み)	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

① ロボット前立腺手術件数の維持(昨年実績:23件)

4-12月実績:29件(目標:30件/年) … 45件見込み

② ロボット腎悪性腫瘍手術の新規導入

2025年7月～ 開始

4-12月実績:10件(目標:初年度は5件/年) … 16件見込み

☆ 腎部分切除を4件実施(2025/11～)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

今年度の新たな取組みに対する結果・成果

- ① ロボット腎悪性腫瘍手術の新規導入
- ② 女性泌尿器科関連手術の新規導入
 - ・膀胱水圧拡張術： 2件
 - ・尿失禁防止手術(TVT)： 2件
- ③ 経皮的経尿道的同時尿路結石碎石術)の新規導入
- ④ 有休取得に対する柔軟な対応



来年度に向けた決意表明

低侵襲手術(ロボット手術・腹腔鏡手術)の実績を伸ばし、地域医療に貢献する。

女性泌尿器科領域の拡充を目指し、地域医療に必要とされる診療を実践していく。



2025年度成果

皮膚科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
月平均新規入院患者数(人)	11.1	12.0	12.0	○
平均在院日数(日)	10.1	10.0	9.9	○
平均外来患者数(人/日)	32.9	34.0	33.2	△



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	新人指導を進め、診療レベルの底上げを図る	○
2. 生き活きと働ける職場環境	残業時間の短縮	△
3. 地域ニーズへの対応	一般市民への皮膚科的知識の啓蒙と、開業医との連携の強化	○
4. 経営基盤の更なる強化	外来患者数の増加	△



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

○近隣クリニックとの勉強会の継続

・web勉強会・情報交換会を毎月継続して開催し、紹介患者数の増加につながっている。

○新人への指導、カンファレンスの実施

月に1-2回程度、外来カンファレンスの開催・病理検討などを実施した。

○重症薬疹診療拠点病院としての薬疹研究、治療の継続

SJS, DIHS等複数名の重症薬疹の治療の実施と、過去7年の薬疹患者のデータについて集計し、今後学会論文発表予定である。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

今年度の新たな取組みに対する結果・成果

他大学、多施設との共同研究、共同診療
(遺伝子検査含め)を推進し、当科で診断
および治療可能な疾患幅の拡充を図る。

- ・特殊なHPV型による疣贅について金沢医科大学と連携
- ・皮膚悪性リンパ腫について浜松医科大学と共同研究、論文発表
- ・遺伝性血管性浮腫Ⅲ型について弘前大学へ遺伝子検査依頼
- ・自己免疫性水疱症について久留米大学へ検査依頼



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

来年度に向けた決意表明

常勤の皮膚科専門医不在の1年になります。
現在の診療体制維持に努めます。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度成果

放射線診断科 画像診断センター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度の目標

画像診断管理加算3の維持

画像診断を専ら担当する常勤の医師**3名以上**が
翌診療日までにCT/MR/核医学検査の**8割以上**
を読影して主治医に文書で報告した場合**235点**
(加算1は70点、加算2は175点、加算4は340点)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成 度
読影率	87.1%	8割以上	88.3%	○
読影件数	34,640	34,000以上	29,904 (年間35,900見込)	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度(4月-1月)の成果

	検査件数	読影件数	読影率
CT	25,910	22,666	87.5%
MR	7,267	6,616	91.0%
核医学	703	622	88.5%
計	33,880	29,904	88.3%

(4-12月)約7,000万円(昨年6,500万円)の収益
加算1より約4,900万円(昨年4,500万円)の増収



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	安全、迅速な画像検査、読影、血管造影検査治療の実施	○
2. 生き活きと働ける職場環境	常勤医、非常勤医の確保	○
3. 地域ニーズへの対応	診療所依頼の画像検査読影の維持	○
4. 経営基盤の更なる強化	画像診断管理加算3の維持	○



2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	安全、迅速な画像検査、読影、血管造影検査治療の実施	継続
2. 生き活きと働ける職場環境	常勤医、非常勤医の確保	継続
3. 地域ニーズへの対応	診療所依頼の画像検査読影の維持	継続
4. 経営基盤の更なる強化	画像診断管理加算3の維持	継続



今年度の新たな取組みに対する結果・成果

常勤医(放射線診断専門医、IVR専門医)の獲得

浜松医大との連携強化

継続



来年度に向けた決意表明

画像診断管理加算3の継続

常勤医の高齢化に対し、
新たな常勤医の獲得、
非常勤医の確保。



2025年度成果

放射線治療科 放射線治療センター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
新規放射線治療患者数	329	340	257	×
IMRT実人数	162	≥160	110	×
定位放射線治療実人数	43	≥50	37	×



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	高精度放射線治療の積極的活用 小線源治療や内用療法など特色ある治療の推進	○
3. 地域ニーズへの対応	緩和的放射線治療地域連携モデルの活用	△
4. 経営基盤の更なる強化	定位放射線治療の推進 緩和的放射線治療の利用拡大	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

高精度放射線治療の積極的活用

- ・IMRT 多くの根治照射に活用
緩和照射にも副作用低減目的で活用が増加した
- ・定位放射線治療
オリゴ転移(オリゴ再発・オリゴ増大)への積極的活用

小線源治療や内用療法など特色ある治療の推進

- ・前立腺癌密封小線源治療のスキルアップ
9月にスペシャリストを招いて技術指導を受けた
問題点が明確になり、線量分布の改善につながった
- ・ルテチウム内用療法の需要に応じた施行 件数は昨年同様
新たに保険収載されたmCRPCに対する核医学治療の導入準備開始



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

緩和的放射線治療の利用拡大

- ・有痛性骨転移や胃癌の出血に対し、単回照射の活用を推進
- ・通院困難例や薬物療法の中断を避けたい場合にも短期間の治療を提案
→ ただし、回数が減ると収益は減少する
- ・近隣の病院や在宅医療クリニックとの連携を推進
地域医療連携室とともに訪問など行ったがご紹介には至らず
- ・緩和ケアセミナーで、緩和的放射線治療についてプレゼンテーション実施
緩和照射の適応となる病態や施行のタイミングの周知を図る機会



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

今年度の新たな取組みに対する結果・成果

装置の老朽化に伴う継続治療体制の強化

- ・治療がストップした際のダメージを最小限にする準備
放射線治療医・医学物理士で協議し、
対向2門照射、乳房接線照射の線量体積に関する取り決めを行った
→ 治療中断となった方の休止期間短縮につながる
全骨盤4門照射については、検討を継続する

骨転移に対する定位放射線治療の導入

- ・当科としての方針・治療方法を検討しプロトコールを作成
- ・実際の治療は定位「風」を含めて2例



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

来年度に向けた決意表明

お一人お一人の患者さんに適した治療を丁寧に行います

特色を活かした治療を積極的に行います



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度成果

麻酔科 手術センター



2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
手術件数(件)	5,266	5,300	4,445	○
全身麻酔件数(件)	2,451	2,500	2,024	△
緊急全身麻酔件数(件)	389	380	333	○



2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	高度で安全・良質な周術期医療の提供	○
	緊急時の対応の強化(みんなでやろう)	△
	勉強会の充実・シミュレーションの開催	○
	インシデント・アクシデントの情報の共有	○
2. 生き生きと働ける職場環境	日中のオペ室稼働率の上昇	○
	新人Ns・CEの継続的配属と人材育成の継続	○



2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
3. 地域ニーズへの対応	緊急手術への迅速な対応	○
	手術件数増加への対応	○
	外来手術件数・短期滞在手術件数増加への対応	△
4. 経営基盤の更なる強化	急性期充実体制加算の取得の継続	○
	他部門(産科病棟・放射線科)との連携・共働の強化	△
	効率的な手術室運営の推進	
	→ 全てのスタッフが、いろんな手術/状況に対応できる	△
	→ SPD・サプライセンター等と連携しタスクシフト	△



2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

取組み	成果
一歩進んだ術前診察 術前センター/プレハビリテーション	術前診察数 ↑
	手術術前のしおりを有効に利用できず
いろんな手術/状況にみんな対応	来年度以降の重点目標
術後疼痛ラウンドの充実	ラウンド件数 ↑
	ラウンドできるスタッフ数の増加を



2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

取組み	成果
3F手術室の運用 (10枠/週の増加)	眼科手術施行
	2F手術室 6枠/週の空き
手術枠 78 → 80枠/週	82枠/週
麻酔科管理枠 55 → 59枠/週	59枠/週
体位のマニュアル作成	手をつけれず



来年度に向けた決意表明

- さらに質の高い医療の実現
- 各スタッフの力の底上げ
- 手術件数のさらなる増加への対応
(来年度のスタッフ数によっては件数を減少させないことが目標?)



2025年度成果

病理診断科 病理診断センター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	●病理医の診断能力に関して、日本病理精度保証機構により高い評価(認定)を受ける	○
	●標本管理能力について、日本病理精度保証機構により認定を受ける	○
	●職員(特に専攻医)の確保	×
	●他科・研修医のサポート体制強化:症例検討会、論文、学会発表への参画	○
2. 生き活きと働ける職場環境	●業務効率化:残業時間の削減、有給休暇の取得推進、能力に応じた仕事の割り振り(働き方改革)	○



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
病理診断結果確認率	95%	97%	96.2%	△



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

- 病理医の診断能力と標本管理能力について、日本病理精度保証機構により認定を受けた
- 職員(特に専攻医)を新規に確保出来なかった
- 他科・研修医のサポート体制強化:症例検討会、論文、学会発表へ参画した
- 業務効率化:有給休暇の取得を推進した



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

今年度の新たな取組みに対する結果・成果

職員(特に専攻医)を新規に確保することが出来なかった

臨機応変に仕事の割り振りをするにより、有給休暇の取得を推進した



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

来年度に向けた決意表明

がんゲノム診療を含む地域医療へのさらなる貢献を目指します



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度成果

リハビリテーション科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標	2025年度 4月-1月実績	達成度
嚥下造影検査件数	147	150	94	×
嚥下内視鏡検査数	60	70	47	×
目標単位数 (PT+OT)	15.8	16.0	15.3	×
学会発表演題数(医師+療法士)	5+16	2+8	3+10	○
総合実施計画書不備割合(%)	9.9%	8.0%	7.8	○
早期リハビリテーション加算	98.8%	98.0%	97.5	△



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	全身管理、統合的な評価を包括的に解釈した上でゴール設定を行い、リハビリテーション治療を提供する。	△
2. 生き活きと働ける職場環境	リハビリテーション現場の活力ある意見を吸い出して、実現させていくこと。	△
3. 地域ニーズへの対応	訪問看護、訪問リハ、他院リハスタッフ、役所福祉課と協働して、医療難民、リハ難民を救い出すシステムの構築。	△
4. 経営基盤の更なる強化	単位数の増加。加算損失機会の減少。	×



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

- ・医師、看護師に向けたリハビリテーション教育の継続。
電子カルテ変更に乗じて、まずはゴール設定、処方目的を明確にする必要性を医師に学んでいただくことから開始した。
- ・専門外来の広報
訪問看護、訪問リハビリテーション、他院、磐田市医師会、ケアマネージャー、保健師など、様々な地域スタッフと横の連携を作ることで啓発を行っている。
けやきにも広報予定。
- ・訪問看護、訪問リハ、地域包括などの患者を取り巻く院外スタッフと相互コミュニケーションが可能なシステムの立案
→ケアマネ連絡会への参加、地域での各種勉強会への参加、通所訪問リハビリテーション相談会の継続



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

今年度の新たな取り組みに対する結果・成果

リハビリテーションの啓発、マニュアル化
当院、当地域でのリハビリテーションの理解の浸透

(医師×、看護師△、地域スタッフ△)

「そもそもリハビリテーションとは何か？」 OTとは？

自治体病院学会2025にて発表

→改めて院内学会で発表し啓発

☆意図のない、必要性の低いリハビリテーション依頼の中止
→当医によるOT処方を検討したが、実施時間の確保が困難であった。今後、システム化を検討する。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

来年度に向けた決意表明

療法士、病棟スタッフ、医師、磐田地域、静岡県西部のスタッフ、磐田市役所と共に

診療報酬改定に対応し、より**早期**に、より**適切**に、より**質の高い**リハビリテーションが提供されるために、リハビリテーションが包括医療であることを院内で啓発していきます。

ADL・QOL向上に寄与し、病棟、主治医、地域と**実のある**連携をして、円滑な早期退院・転院に貢献します。

中東遠地域全体のリハビリテーションが平時においても災害時においても円滑に回るよう、様々な職種同士が対話可能なシステムを構築します。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

市民、職員の幸せな生き方を守る

職種、医療、福祉、介護、行政の枠を超えて

対話を持って連携する関係性の構築



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度成果

救急科 救命救急センター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	浜松医科大学との協力による研修医教育体制の改革	○
2. 生き活きと働ける職場環境	院内救命士の増員による救急外来の診療体制の強化	×
3. 地域ニーズへの対応	能登半島地震を踏まえた災害対応体制の見直し	○
4. 経営基盤の更なる強化	救急外来患者の増加に伴う診療報酬収入の増加と経営貢献	△



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-1月実績	達成度
救急外来受診数	15675件	15800件	12597件	△
救急車搬送患者数	6292件	6300件	5153件	△
応需率	95%	98%	94.1%	△



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

- ・ 浜松医科大学と連携した研修医教育
→年3回の外部講師招聘
- ・ 救命士増員による診療体制強化は
→人員確保できず
- ・ 能登地震を踏まえた災害体制の見直し
→病院前救護所を立ち上げ
- ・ 救急外来患者数増加による増益
→患者数伸びず



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

今年度の新たな取組みに対する結果・成果

- 浜松医科大学と連携した研修医教育
→年3回の外部講師招聘 →**達成**
 - 救命士増員による診療体制強化は
→人員確保できず →**未達成**
 - 能登地震を踏まえた災害体制の見直し
→病院前救護所を立ち上げ達成 →**達成**
 - 救急外来患者数増加による増益
→患者数伸びず →**未達成**
- (電カル更新・脳卒中疑い受け入れ制限の影響か)



来年度に向けた決意表明

- 研修医教育の質をさらに向上させる
- 救急受け入れ体制を強化する
- 災害医療体制の実効性を高める
- 患者受け入れ増と収益改善を目指す



2025年度成果

歯科口腔外科



2025年度 診療数値目標

項目	2024年度	2025年度 目標値	2025年度 4月-12月実績	達成度
月平均新規入院患者数(人)	41.0	44.2	36.1	×
紹介患者数	1759	1800	1872	○
平均在院日数(日)	3.2	3.5	3.8	○



2025年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	DX化による質の高い手術・治療の提供	○
2. 生き活きと働ける職場環境	業務の効率化・省力化によるストレスの軽減、残業時間減少	○
3. 地域ニーズへの対応	地域診療所とのコミュニケーションの強化	○
4. 経営基盤の更なる強化	令和6年度診療報酬改定への対応 平均在院日数にはこだわらず病床稼働率の上昇を図る	○



2025年度重点目標達成に向けた取組み・成果

- ・口腔内スキャナーやシミュレーションソフトの活用により手術時間の短縮を図り、再現性の高い手術・治療を実施した。
- ・地域歯科医師会への積極的な参加に努めた。
- ・保険診療への理解を高めるために、講演会・セミナーへ積極的に参加した。



今年度の新たな取組みに対する結果・成果

・2025年7月から金曜日に全身麻酔枠が増設され、全身麻酔手術件数および平均在院日数が微増した。

・学会の指定研修施設認定数を増やす。
→日本顎変形症学会の認定施設申請中。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

来年度に向けた決意表明

患者さんの満足度を高め、より安全、確実な質の高い口腔外科医療を提供できるよう、引き続き努めて参ります。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital